

道標ない旅269

平成30年6月12日(地域版第3号)

“269”とは南郷中の全校生徒数です

校長 益田 孝彦 875-9494

◆◆ 部活動の春の大会結果を学校HPに紹介しました。どうぞご覧下さい。 ◆◆
 学校HP <https://www.town.hayama.lg.jp/nangou/index.html>
 を活用して、情報をお届けしています。是非ご覧になって下さい。

◆◆ 地域の方に学ぶ～FGC活動～ ◆◆

24日に2年生が、25日に1年生が、本格的にFGC活動に取り組みはじめました。
 24日は、6/20にご指導いただける協力団体さんが来校し、5分ほどのプレゼンを通し、その日何が体験できるか、説明して下さいました。活動の種類が幅広く、一つ一つが興味深いので、2年生は一つに絞るのが難しいのではと思いました。
 翌25日は、1年生がFGC活動のスタートを迎えました。視聴覚室で「山楽会」の有田さんの、「葉山に残った二子山山系・森戸川源流の割と手つかずの残った自然の豊かさとその魅力」についてのお話を聞いたあと、福祉文化会館のまちづくり展に繰り出しました。会館では、本校第七代校長である山本陽子先生(まちづくり協会理事)から、FGC活動のガイダンスを受け、何のための学習か、よく理解できたようでした。そして、まちづくり展を「何かを学び取る、そして来年の学習に活かす」という姿勢で見学することができました。

	活動名称	期日	活動内容・目的
1年	FGCガイダンス (講師: 山楽会 有田 保章 氏)	5/25(金)	◇身近な葉山の魅力について、今回は、二子山山系や森戸川源流に残された葉山の自然の魅力を知る。
	まちづくり展見学 (まちづくり協会講師:山本陽子 氏)	5/25(金)	◇2年次の体験学習に備えて、どんな体験ができるのかを実際に見聞きしイメージを抱く。
	地域ふれあいの会 (町内・自治会のみなさん)	11/15(金)	◇自分が住んでいる地域の方々からお話を聞き、地域の良さや課題を考える。
	職業インタビュー	後期	◇直接お話を聞くことで、仕事内容や仕事に就くまでの準備を知る。
2年	FGC体験学習受け入れ団体による プレゼンテーション	5/24(木)	◇体験学習の内容について、参加協力いただける各団体に説明していただき、自分の希望を決定する。
	FGC体験学習受け入れ団体による 事前学習	6/7(木)	◇希望をもとに編成されたグループで事前学習。
	FGC体験学習	6/20(水)	◇葉山ならではの体験学習の実施を通し、葉山の魅力を実感するとともに、地域の方々との交流を通し、様々な考え方や生き方を学ぶ。
	職場体験学習 (各事業所の皆様)	11/15(木) 11/16(金)	◇「働くこと」を実体験することにより、生き方・進路について考えるきっかけとする。また、地域の方々とのふれ合いをとおして、地域社会の一員としての自覚を持つ。
3年	地域ボランティア活動 (町内・自治会のみなさん)	2/22(金)	◇3年間お世話になった地域の方々にお礼の意味を込めて、奉仕活動を行う。

2年生「FGC体験学習」でお世話になる団体です

《葉山まちづくり協会》

- ①葉山・山楽会 ②葉山メダカの会 ③長柄・桜山古墳をまもる会 ④自然保護団体 森戸川村
- ⑤葉山町文化財研究会 ⑥NPO法人オーシャンファミリー海洋自然体験センター
- ⑦葉山詩吟詩舞連盟 ⑧東京都市大学ランドスケープエコシステムズ田中章研究室

《はやまボランティアセンター》

- ①音訳の会葉山やまばと ②おはなし畑 ③葉山手話サークルクローバー ④おちゃとらの会
 - ⑤葉山赤十字奉仕団 ⑥生活リハビリクラブ葉山
- (敬称は略させていただきます)

★FGCとは、「葉山のよい暮らしを発見する」という意味で、「Find Good life Community」の頭文字をとったものです。
 「地域の方々との活動・交流をとおして、学習した中から課題を見つけ、調べ、考え、解決していく力を身につける」「地域の方々とのふれ合いをとおして、地域社会の一員としての自覚を持つ」ことを目指して、葉山町の各種団体、地域の町内会・自治会の皆様方にお世話になっています。今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。



◆◆ 5月9日、学校評議員会兼学校関係者評価委員会を開催しました。 ◆◆

今年度から学校評価は、学校評議員さん4人に、PTA代表グループの4名、そして長柄小学校教頭を加えた、学校関係者評価委員会にて行います。5月9日にその1回目を開催しました。1回目は、本校の学校経営方針を説明し、授業を参観いただきました。2回目には、5月と10月の職員アンケート結果の変化や、生徒アンケート・保護者アンケートの分析から、課題を見つけ2月までの改善策について検討頂きます。3回目の2月には、年間を通して課題となったことを洗い出し、次年度の改善策を検討頂きます。反省を活かし次の行動を起こすサイクルをPDCAサイクルと呼びますが、そのサイクルが機能するように努めたいと思います。

今回話題になったことを挙げれば、

①自転車通学の重要性と様々な課題 ②保護者や地域も加わった「チーム南郷」を作り上げていく上での課題 ③より具体的な危険性が学べる実効性の高いスマホ・携帯教室の開催が必要な世の中 ④授業形態が習得した内容を授業内で活用できる方向に変わっていく可能性についての話題 ⑤葉桜方面の通学路の課題 ⑥雨の日にバスが予定を大幅に遅れるという運行上の課題 などなどありました。地域の方々が集まる教育懇話会等で検討すべき課題や、南郷中職員が検討すべき内容もあり、それぞれ一歩ずつ整理・解決していきたいと感じました。

◆◆ 雨の心配を吹き飛ばし、19日に体育祭を実施しました。 ◆◆

雨に備えて、プログラムの入れ替え準備まで整えて迎えた当日でしたが、曇天を吹き飛ばし、第38回体育祭を無事開催することができました。当日ご来場下さった、数多くのご来賓の皆様、保護者・地域の皆様に改めて感謝申し上げます。

開会式でのキビキビとした動き、そして雲を吹き飛ばすとても気合いのこもった校歌に始まった体育祭。開会式の時点で体育祭の成功を感じ取ったのは、決して私一人だけではなかったかと思えます。

生徒会種目「アンダースロー」では、あまり勝負にこだわる感じではない印象だった生徒たちが、100m走からは、目の色変えてのガチンコレースを展開はじめました。

見応えのある全力のプレーがそこそこで見られる中、午前の部でとりわけ見応えを感じたのが、2学年種目「綱取り物語 2018」と、3学年種目「疾風迅雷 102」です。綱取りでは、青はあと1本綱が入れば優勝でしたが、黄色の粘りで時間切れ、2点差で赤が逃げ切り勝利。3学年のリレー疾風迅雷では、抜きつ抜かれつの攻防が展開され、観衆を感動で包み込みました。

忘れてはならないことに、中々破る機会のなかった「長縄跳び」において、3年A組がファーストアタックで、大会記録84回を塗り替える85回を跳んだことでしょう。1回多く更新したところが奥ゆかしいなと思ったのですが、きっと限界ギリギリの粘りだったのだろうなと改めて感じました。

昼食前後に、「ブロック旗紹介」「ブロック表現」がありました。審査員の方々も生徒たちの気持ちを逃さず受け取ろうと、真剣に審査いただきました。工夫を凝らし、気持ちのこもったブロック表現を審査するのは大変です。集計の結果、「旗デザイン賞」は青ブロック、「ブロック表現賞」は、黄ブロックが獲得しました。見事優勝したのが赤ブロックでしたので、参加した全ての生徒が勝者になれた今年の体育祭ならではの結果といえそうです。



体育祭実行委員長 3-C 山口 宙夢

体育祭の日は雨になると聞いていて、本番前はすごくがっかりしていました。それでも本番前日には委員会の方々や部活の人たちが19日の体育祭のために精一杯働いてくれたおかげか、体育祭の日は晴れになり本当に頑張った良かったなと思えました。そして、体育祭本番では、体育祭実行委員の仕事を忘れてたり、サボったりする人がおらず、とても良い雰囲気ですべてを終えることができました。その中でも体育祭実行委員が前に出る南郷体操では、体育祭実行委員が大きな声で南郷中の校歌を歌って体操を大きく表現するという練習を本番前からやっており、本番でも練習通り大きな声で歌い大きく体操表現できたのでとてもいいお手本としてみんなに見てもらえたと思えました。体育祭が終わった後の片付けも委員会の方々や部活の人たちが協力して素早く終わることができたのでよかったです。本当にご協力ありがとうございました。